【３年　社会科】

学期	学　習　内　容	評価方法
1学期	【歴史的分野】 第６部　二度の世界大戦と日本 第１章　第一次世界大戦と民族独立の動き 具体的には… ○第一次世界大戦がはじまる前のヨーロッパの関係を説明することができる。 ○第一次世界大戦時、日本はどのようにかかわったか説明することができる。 ○第一次世界大戦後、国際協調の動きが起こった理由を説明できる。 ○アジアで起こった民族自決の動きを理解できる。 第２章　高まるデモクラシーの意識 具体的には… ○第一次世界大戦後の日本の政治と経済の変化を資料から読み取ることができる。 ○大正時代に起こった文化の特色を理解する。 第３章　軍国主義と日本の行方 具体的には… ○世界恐慌とその後の欧米諸国の対応を説明できる。 ○ドイツやイタリア、日本で起こった軍国主義とはどのような動きであるか説明することができる。 第４章　アジアと太平洋に広がる戦線 具体的には… ○第二次世界大戦までの経緯、戦争の経過、戦時中の人々の暮らし、敗戦までの流れを資料を手がかりに説明することができる。 第７部　現在に続く世界と日本 第１章　敗戦から立ち直る日本 第２章　世界の多極化と日本の成長 第３章　これからの日本と世界 具体的には… ○敗戦後、GHQ によって日本の憲法、政治や経済のしくみはどのように変わったか説明することができる。 ○冷戦体制とその影響を受けた世界の動き、日本の独立との関係を説明することができる。 ○日本の高度経済成長の背景とその後の社会の変化を説明することができる。 ○冷戦終結後の世界と日本の変化について理解する。	【知識・技能】 ・章ごとの小テスト（第６部） ・第６部・第７部　終了後の単元テスト ・振り返りシート （毎時間自分が分かった知識を説明する） など 【思考力・判断力・表現力】 ・章ごとの小テスト（第６部） ・第６部・第７部　終了後の単元テスト ・振り返りシート （単元末の説明でその単元を貫く問いに対する説明をします） ・話し合い活動における記述・発言・発表の様子　など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート （単元を終えて今後の学習に生かしたいことや新たな疑問を書きます。） ・小テストや単元テスト （自分が内容を理解するために学習をいかに修正できているか見ます。） ・ワークに対する取り組み方 （内容を理解するために、どのようにワークに取り組んでいるか、間違えた問題をどのように扱っているか、取り組み方を見ます。） ・話し合い活動における記述・発言・発表など （本時の問いに対して答えにたどり着くような学習の工夫をしているか。） など

	【公民的分野】 第１章　現代社会と私たち 　１節　現代社会の特色と私たち 具体的には… ○「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」の視点から現代社会の特色を説明することができる。 　２節　私たちの生活と文化 具体的には… ○私たちの生活に影響している日本の様々な文化の特色を理解することができる。 　３節　現代社会の見方や考え方 具体的には… ○どのようなことに配慮して決まりを決めるか、どのような決め方で決めたらよいか事例を　もとに説明することができる。 第２章　個人の尊重と日本国憲法 　１節　人権と日本国憲法 具体的には… ○人権獲得までの歴史を理解することができる。 ○日本国憲法制定までの歴史と日本国憲法の三大原則について説明できる。 ○国民主権と象徴としての天皇の地位について説明できる。 ○我が国の平和主義の在り方について説明できる。 ○基本的人権にはどのような権利が含まれるか理解することができる。	【知識・技能】 ・第１章・第２章　１節終了後　小テスト ・１学期公民範囲終了後の単元テスト ・振り返りシート 　など 【思考力・判断力・表現力】 ・第１章・第２章　１節終了後　小テスト ・１学期公民範囲終了後の単元テスト ・振り返りシート ・話し合い活動における記述・発言・発表の様子　など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・小テストや単元テスト ・ワークに対する取り組み方 ・話し合い活動における記述・発言・発表 　など など

学習方法	【授業の進め方とポイント】 ○ワークを使った予習をしますので、あらかじめどのようなキーワードでその時間の学習が進むか（ぼんやりでいいので）理解してきましょう。 ○毎回問いに答える形で授業を展開します。必要な資料を教科書や資料集・地図帳などを手掛かりに読み取り、自分の言葉で説明することを意識したまとめを書きましょう。 ○振り返りシートにはその時間にわかった知識をまとめましょう。 【家庭学習の進め方とポイント】 ○ワークの右のページを活用して応用問題を解いてみましょう。 ○間違えた問題は自学ノートを活用して、もう一度解いてみましょう。 ○授業でわかったことをその日のうちに、自学ノートにまとめても効果的です。 （その際は、図や表、挿絵などを入れたカラフルなものにすることをおススメします。） ○テストの前には対策プリントを出します。繰り返し解いて確実に理解しましょう。